那珂市複合型交流拠点施設「道の駅」整備

第4回検討委員会 開催概要

「道の駅」整備に向けて、検討委員会を開催しました

那珂市では、那珂インターチェンジ周辺地域を核とした活力あふれる まちづくりの実現に向け、複合型交流拠点施設「道の駅」の整備につい て検討を進めています。

道の駅の整備に向け、学識経験者や市内事業者、市民代表らが参加し、 検討委員会を開催しました。11月25日(金)に行われた第4回の検 討委員会では、主に導入機能についての意見交換を行いました。

■主な協議内容

- ・需要予測について
- サウンディング調査結果について
- ・ 導入機能について

今後は、委員の皆様の意見を踏まえながら、公共性・公益性を考慮した上で、導入機能の絞り込みを行い、施 設規模やゾーニング、概算事業費について検討を進め、基本計画の策定に向けた議論を行っていきます。

委員からの主な意見

- 駐車マス数については、余裕をもって整備する必要がある。
- 農産物の価格をスーパーより安く設定するよりも、クオリティの高い商品を生産することで、スーパーと差別化する方法を模索する方が良いと考える。
- 農産物直売所について、クオリティの高い商品を売り場に揃えるようにするため、生産者同士で研鑽できる体制づくりが必要である。
- 道の駅の管理運営主体について、第三セクターによる運営方式は出資者の意向 が働くため、幅広く検討すべきである。



検討委員会のようす

- 定期的にメディアに取材を依頼し、那珂市や那珂市の農家、道の駅の直売所を PR すべきである。
- 遠方からの来場者向けに、インスタグラムやツイッター、HPなどで地域の情報を毎日配信する方が良い。
- コロナ禍で若い家族の需要が高まっているため、道の駅に滞在し、半日遊ぶことが可能な機能があると良い。
- 近年の気温上昇を踏まえ、夏場は水遊びが出来る施設があると、親子で利用しやすい。

まとめ:活発な議論が行われ、特に、導入機能のアイディアについて多くの意見が挙がりました。 委員の皆様から頂いた貴重な意見を踏まえ、道の駅の整備について検討を進めていきます。

今後の検討委員会のスケジュール(予定)

